



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社

コード番号 8090 URL <http://www.shoko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲泉 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺 正俊 TEL 03-3459-5111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	91,751	4.3	1,125	△22.1	1,507	10.9	1,458	10.2
28年12月期第3四半期	87,942	△11.6	1,444	-	1,359	-	1,322	-

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 1,923百万円 (111.6%) 28年12月期第3四半期 908百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	13.33	-
28年12月期第3四半期	12.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	57,884	6,894	11.5	60.61
28年12月期	58,744	4,959	8.1	43.29

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 6,631百万円 28年12月期 4,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年12月期	-	0.00	-	-	-
29年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△1.8	1,600	△22.5	1,600	△24.5	1,400	△36.2	12.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	112,714,687株	28年12月期	112,714,687株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	3,297,635株	28年12月期	3,288,275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	109,422,492株	28年12月期3Q	109,430,196株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する純利益は、本年4月25日に開示いたしました平成29年12月期の通期連結業績予想を既に上回っておりますが、今後の構造改善の取組み等が損益等の状況に影響を及ぼす可能性があるため、当該業績予想を修正しておりません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米経済を中心に世界経済の堅調な拡大傾向の流れを受け、景気は緩やかに回復した状況で推移しました。

当社グループは、平成28年度からスタートした5ヶ年の中期経営計画に掲げた「リスク予測機能の強化」「成長分野への投資、不採算事業からの撤退」「主要顧客への深耕、新規顧客開拓、高収益事業への進出」「エンドユーザー密着型ビジネスモデルの構築」「東南アジア地域を重点エリアとした事業展開」の5つの全体戦略に取り組んでおりますが、本年、平成26年に買収した当社連結子会社が、特定の顧客との間で、買収前から実体の伴わない取引をしていたことが判明し、連結子会社化した時点に遡って決算を訂正する事態となりました。当社は、本年4月17日に公表した特別調査委員会調査報告書の指摘事項を踏まえ、再発防止策の検討・実施・モニタリングを行う社長直属のプロジェクトチームを本年4月21日付で設置しました。本年6月12日に東京証券取引所より改善報告書の徴求を受け、本年6月26日に提出いたしました。当社は、外部専門家に助言を仰ぎつつ、本改善報告書に則り諸施策を実施し、再発防止、リスク管理の強化に努めております。

そのような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社事業におきましては、為替相場や原料価格の変動による影響を受けながらも、主要商品の販売は概ね好調に推移しましたが、上記の特別調査に関する費用等を一般管理費に計上したこと、また前年同期には、支払が遅延していた売掛債権の一部回収による貸倒引当金戻入益があったこと等から、営業利益は減益となりました。しかし、営業外損益で持分法投資利益および為替差損益の改善、ならびに特別利益として子会社株式売却による売却益を計上いたしましたので、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は917億51百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は11億25百万円（前年同期比22.1%減）、経常利益は15億7百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億58百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(化学品)

化学品部門につきましては、化学品関連は、国内・海外共に主力商品の販売好調に加え、新規開発商材の販売も売上に貢献し、増収となりました。

科学システム関連は、主力商材のショウデックス®カラム（高速液体クロマトグラフィ用カラム）、および、輸入計測機器の販売が好調に推移し、増収となりました。

食品関連は、食品添加物は堅調も、畜産品の最終製品販売低調の影響で、減収となりました。

肥料農材関連は、農業資材販売は堅調も、肥料は価格値下げの影響が大きく、減収となりました。

以上の結果、売上高は288億55百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は5億8百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

(合成樹脂)

合成樹脂部門につきましては、国内取引では、需要が堅調に推移し、販売数量・売上共に、ほぼ前年同期並みとなりました。

また、貿易取引では、中国・韓国・台湾向け輸出がいずれも好調で、増収となりました。

以上の結果、売上高は245億84百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は50百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

(金属)

金属部門につきましては、軽金属関連は、圧延品が引き続き好調、二次合金やスクラップも国内需要が伸長し、増収となりました。

無機材料関連は、耐火材や研削材等の販売が好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、売上高は274億70百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は3億18百万円（前年同期比56.3%減）となりました。

(生活環境)

生活環境部門につきましては、住宅建材関連は、ジャストベース®(固定柱脚)の大型案件が顕現するも、管材・外壁材販売が振わず、減収となりました。

エレクトロニクス関連は、本年4月にLED事業の連結子会社(昭光エレクトロニクス株式会社)の株式全てを昭和電工株式会社へ譲渡したことに伴い、減収となりました。

以上の結果、売上高は75億66百万円(前年同期比10.5%減)、営業利益は1億9百万円(前年同期比22.9%減)となりました。

(海外その他)

海外その他部門につきましては、連結子会社のShoko Tsusho (Thailand) Co.,Ltd.は、合成樹脂について、主力の自動車向けを中心にほぼ前年同期並みとなりましたが、亜鉛相場高騰に加え、亜鉛地金の新規顧客開拓が奏功し、増収となりました。

以上の結果、売上高は32億74百万円(前年同期比18.3%増)、営業利益は1億40百万円(前年同期比59.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、578億84百万円(前連結会計年度末比1.5%減)となりました。主な要因は、「現金及び預金」の減少であります。

負債は、509億90百万円(前連結会計年度末比5.2%減)となりました。主な要因は、「短期借入金」の減少であります。

純資産は、68億94百万円(前連結会計年度末比39.0%増)となりました。主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加であります。

この結果、自己資本比率は3.4ポイント上昇して11.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月25日に公表しました「平成28年12月期 決算短信 [日本基準] (連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,478	4,014
受取手形及び売掛金	30,067	30,356
電子記録債権	3,099	4,317
商品及び製品	3,473	3,712
販売用不動産	12	12
仕掛品	279	150
原材料及び貯蔵品	530	483
その他	2,367	2,328
貸倒引当金	△234	△328
流動資産合計	46,072	45,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,476	1,419
機械装置及び運搬具(純額)	605	581
土地	4,711	4,697
その他(純額)	544	536
有形固定資産合計	7,337	7,234
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	152	129
無形固定資産合計	155	130
投資その他の資産		
投資有価証券	4,333	4,540
繰延税金資産	21	33
長期未収入金	8,418	8,380
その他	801	904
貸倒引当金	△8,395	△8,387
投資その他の資産合計	5,178	5,471
固定資産合計	12,671	12,836
資産合計	58,744	57,884

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,249	26,570
電子記録債務	2,526	3,540
短期借入金	3,180	1,500
1年内返済予定の長期借入金	11	—
未払法人税等	153	264
賞与引当金	144	364
その他	3,044	1,184
流動負債合計	36,309	33,425
固定負債		
長期借入金	15,021	15,000
退職給付に係る負債	1,078	1,068
その他	1,375	1,496
固定負債合計	17,475	17,564
負債合計	53,785	50,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	△4,461	△2,975
自己株式	△479	△480
株主資本合計	3,081	4,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59	298
繰延ヘッジ損益	10	8
土地再評価差額金	904	904
為替換算調整勘定	959	983
退職給付に係る調整累計額	△159	△129
その他の包括利益累計額合計	1,655	2,065
非支配株主持分	222	262
純資産合計	4,959	6,894
負債純資産合計	58,744	57,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	87,942	91,751
売上原価	81,271	84,826
売上総利益	6,670	6,925
販売費及び一般管理費	5,226	5,799
営業利益	1,444	1,125
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	95	98
為替差益	—	29
持分法による投資利益	82	288
雑収入	24	54
営業外収益合計	211	478
営業外費用		
支払利息	104	80
為替差損	170	—
雑損失	20	15
営業外費用合計	296	96
経常利益	1,359	1,507
特別利益		
子会社株式売却益	—	105
投資有価証券売却益	—	53
固定資産売却益	313	0
その他	—	3
特別利益合計	313	163
特別損失		
企業結合における交換損失	—	38
固定資産売却損	0	14
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	13	—
事業所閉鎖損失	9	—
特別損失合計	23	52
税金等調整前四半期純利益	1,650	1,617
法人税、住民税及び事業税	194	231
法人税等調整額	92	△109
法人税等合計	286	122
四半期純利益	1,363	1,495
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,322	1,458

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,363	1,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	346
繰延ヘッジ損益	△19	△2
土地再評価差額金	21	—
為替換算調整勘定	△140	39
退職給付に係る調整額	26	29
持分法適用会社に対する持分相当額	3	13
その他の包括利益合計	△454	427
四半期包括利益	908	1,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	871	1,883
非支配株主に係る四半期包括利益	36	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(中国関連取引について)

当社の連結子会社である昭光通商(上海)有限公司は、約28百万円の仕入増値税専用発票が未回収となっているため、当該事実について中国税務当局に通報を行いました。その後、平成28年3月に一部の仕入先より平成26年12月期に行った一部の取引について出荷の事実はない旨の通知を受けております。当社で調査を実施いたしましたが、通知にあった事実は確認されておられません。

しかし、今後の中国税務当局による税務調査の進捗により、当社グループの損益等の状況に影響を及ぼす可能性があります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	海外 その他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,822	24,145	25,756	8,449	2,767	87,942	—	87,942
セグメント間の 内部売上高又は振替高	51	27	118	26	800	1,023	△1,023	—
計	26,873	24,172	25,874	8,476	3,567	88,965	△1,023	87,942
セグメント利益 (営業損益)	419	52	728	142	87	1,429	14	1,444

(注) セグメント利益の調整額14百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	海外 その他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,855	24,584	27,470	7,566	3,274	91,751	—	91,751
セグメント間の 内部売上高又は振替高	58	63	430	23	669	1,244	△1,244	—
計	28,913	24,647	27,900	7,589	3,944	92,996	△1,244	91,751
セグメント利益 (営業損益)	508	50	318	109	140	1,126	△1	1,125

(注) セグメント利益の調整額△1百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。